

鶺住居地区復興まちづくり協議会・地権者連絡会 議事要旨

記

- 日時 平成 29 年 4 月 30 日（日）14 時 30 分～16 時 50 分
- 開催場所 鶺住居地区生活応援センター
- 次第
 1. 挨拶
 2. 本日の趣旨とこれまでの経緯
 3. 工事進捗状況及びスケジュールについて
 - ①鶺住居地区復興まちづくり計画の進捗状況の概要
 - ②宅地引渡しスケジュールについて
 4. 鶺住居地区の復興公営住宅について
 5. 集会所について
 6. 住宅再建に係る補助制度について
 7. 鶺住居地区の活性化に向けた市有地活用事業について
 8. ラグビーワールドカップ 2019 釜石開催に向けて
～スポーツの力で地域を創生～
 9. 鶺住居子どもまちづくり協議会の活動状況について
 10. 意見交換

(鶴住居まちづくり協議会藤原会長)

本日は、多数の方々にお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。桜が咲き、青葉・若葉の季節となってまいりました。本日からゴールデンウィークに入りましたが、昔の鶴住居地区では、この時期に山に陣屋を作り、各家の前には花を飾りました。復興の暁には、そのような街になればと考えております。あの津波から6年数ヶ月が経過しましたが、これまで本当にお疲れ様でした。忍耐強く辛抱されてきたと思います。また、市当局やUR、関係者の皆様に対して、心から御礼を申し上げます。今後も、皆様と力を合わせながら、完成まで頑張りたいと思っております。

鶴住居スタジアムの起工式には、佐々木代行、古川会長、自治会の花輪会長など多くの方々に御参加いただきました。工事費用が40億円規模の工事となり、改めて感心いたしました。今後、工事着工し、工事完成後はいよいよ開催となります。ワールドカップ成功のため、地元の皆様の協力が、非常に重要だと考えております。世界各国から、約20チームが日本にやってきます。釜石にどのチームが来るか分かりませんが、来釜したチームに対し我々地元が応援し、大会を大いに盛り上げていきたいと思っております。チームやその国の歴史を勉強し、そのチームを応援して、大会を盛り上げ成功させることが、我々に課せられた使命だと感じております。また、ワールドカップ終了後の施設管理についても、課題となっております。維持費が多く見込まれる箇所は、芝生部分となりますので、少額の費用で管理できるよう人工芝として設計しております。我々としては、ワールドカップを成功させるために尽力する旨お話しいたしました。また、メモリアルパークのレイアウトにつきましても、先日の会議において、A案、B案、C案の長所を抜粋したD案が先生から提出され、おおかたD案で方向性が決まったところです。詳細につきましては、5月中旬以降に検討する予定となっております。新神町の今年のスローガンは、一人はみんなのために、みんなは一人のためにです。素晴らしく立派だと感じました。本日はどうぞよろしくお願いたします。

(地権者連絡会古川会長) 皆様こんにちは。皆様の顔を拝見しますと、問題を抱えた方々が多いと感じます。本日は、皆様の質問に回答できる行政メンバーが参加しております。我々もよく地権者連絡会役員会で意見交換しておりますが、一人は一人、十人は十人、百人は百人の質問があると思いますので、皆様の言葉として役所に届けていただきたいと思っております。資料は、完成予定として記載している内容も多いと思いますが、当局から討議していただくようメモしますので、追及した内容をお話しできればと思います。どうぞよろしくお願いたします。

宅地引渡しについてです。2-3の③部分の太い枠線ですが、何地割りの何番地が入っているのか教えてください。

- UR都市機構の吉田と申します。手元の資料が小さく見づらいのですが、こちらに図面を張り出しますので、会議終了後に御説明させていただきたいと思っております。2-3の③は、街区番号でいうと3街区となります。よろしくお願いたします。

引渡しの時期に、町名や本籍地が変更になると前々回説明がありました。町名が変わることに伴い、本籍地まで決めていただけますか。

- 町名や住居表示の変更につきましては、皆様と今後検討していきます。また、本籍の変更につきましては、次回のまち協時に御説明したいと考えております。

4-2の地権者ですが、期間が過ぎても盛り土を行っていないようです。また、遊歩

道を造設する理由を教えてください。6年間が経過しましたが、一切手をつけていないようですので、地権者が怒るのも当然のような気がします。

- URの吉田です。資料中の薬王堂部分ですが、一部の道路線形の変更手続きを今後進めてまいります。一部道路が無くなる箇所があり、その部分の形状変更を行うにあたり、関係する地権者様との協議に時間を要してしまう可能性がございます。
- 階段部分につきましては、地区外の人が地権者となっております。その土地が無くなった場合、地区外の人が出入り出来なくなるため、歩行者の専用道路として整備する計画です。このような例は他地区にもあり、現在居住されている方や両脇の方にも利用可能となるよう計画しています。
- 会議終了後、個別に相談させてください。

7番の市有地活用事業についてです。公園の中心付近ですが、東側や端に寄せるなど公園を分割しない形で御活用いただきたい。

- 現時点では、宅地を寄せず既存の位置で活用しよう考えております。公園は公園としての機能や形状があり、変更作業は土地区画整理事業の手続きに時間を要してしまうため、既存施設を活用する方向で検討しております。

復興住宅や自力再建が増えることに伴い、人口が増加するため、商業施設に関する問題が生じてきます。現在、鶴住居地区において生鮮食品を調達するためには、釜石市内や大槌町に行かなければなりません。人口が増加することに伴い、商業施設店舗も必要となりますが、その話が一向に出てきません。また、高齢の方々は運転免許証の返納等の問題もあり、買出しに行けないといった状況も発生します。市は、商業施設を誘致する活動を行っておりますか。

商業施設を先に建設しておくことにより、居住する人が増加する理論も成り立ちます。そのような面も考慮したうえで検討いただきたい。

- 前回のまち協でお答えした後、若干の進捗がありましたので、お知らせいたします。商業施設につきましては、仮設店舗で営業されている方々がグループ補助金の内示を受け、宅地の引渡しを行います。その方々のうち、どの程度の方が開業するか把握出来ましたので、皆様が確実に開業できるよう努めてまいりたいと思います。

また、生協や市内スーパーマーケット等宅配サービスを行っている商業施設に対し、店舗が出来るまでの間、仮設住宅や復興住宅を周回していただくようお願いしております。

また、鶴住居地区のまちなか再生計画を策定しており、国庫補助により店舗を造設し、スーパー、テナントを集め、小さなショッピングモールを建設する予定としております。しかしながら、協議を重ねておりますが、核店舗と期待されている店舗から、承諾をいただけておりません。

- 店舗と協議する中で、同様な回答が3点見受けられます。まず業界では、コンビニ2,000、スーパー5,000という言葉があり、コンビニは2,000人、スーパーは5,000人が周辺に居住していなければ、採算がとれないということです。

次に、スーパーマーケットは、店舗を開業するため最低20人のパートが必要となります。また、年齢制限がなく、高齢でも構わないということです。是

非皆様御協力をお願いいたします。

最後に家賃についてです。多数のスーパーマーケットが、建物の建設から始めることは困難であり、市が国の補助金を活用した整備事業を行うため、その事業を活用する予定です。その場合、家賃が国の基準により決まっており、一定程度の割合しか減額できません。スーパーマーケット側からは、家賃を大きく減額するよう要望されております。家賃の減額につきましては、市長、議会は勿論、皆様の御理解をいただければ進むことができません。

以上3点でございます。我々も頑張りますので、是非皆様御協力をお願いいたします。

- 食料品売場はありませんが、食堂を含め 36 店程度の店舗がございます。そのほとんどが国道沿いです。グループ補助金を活用し、40 店以上の出店は確実に考えております。もう少しお時間をいただきたいと思います。

学校南側道路の出口の幅は、およそ何メートルなのかお聞きしたいです。道路幅が狭いため、大型車両が通行できないでしょう。また、配送トラックがグラウンド付近で渋滞しております。その影響で、トラックが歩道に乗り上げ、ブロックが破損する状況となっています。Uターン場所もありません。

そのような状況から、北側道路を使用するほかありませんが、カーブの角度や冬の道路状況が懸念されます。今から南側道路の幅を拡幅できるのでしょうか。

出入口付近において、商業施設の建設を予定しているため、大型トラックが通行可能な道路を整備しておく必要があると思います。

また、駅前にロータリーが出来ますが、店舗が建物の裏側となります。観光客は、店舗を確認し入店すると思われそうですが、建物の裏側に店舗があった場合、集客率はどの程度になりますか。

- 学校南側道路の出口付近についてですが、従前道路の幅員は確保しており、6メートルの幅を予定しております。国道との交差部分は、橋のたもとで狭い状態であったものに4メートルの角きを設け、歩道の巻き込みも整備しました。そのため、普通車両の旋回は問題無いと考えております。大型車両につきましては、どの程度の車両を想定するかにより異なりますが、岩手県交通のバスは旋回可能となっております。
- 御指摘のとおり駅前のロータリー部分は、国道に面しておらず、国道側にも建物が建設されますので、建物の裏側にどのような店舗が整備されるか不明です。国道との交差点付近において、三陸国道様に大型看板を設置いただいております。表示の仕方について、改めて協議しております。学校側への表示やメモリアルパーク側への表示を含め、どのようなものにするか今後の課題となりますが、引続き三陸国道様と協議を行いながら、検討していきたいと考えております。
- 学校内道路は、国道から左側へ旋回したあと上へ進み、一方通行の道路を経て国道に出る流れとなっております。学校南側道路において、当初6メートル以上の幅を確保する計画でしたが、グラウンド面積や学校・プールの配置により変更となりました。幅4mの箇所は、その幅で計画せざるを得なかった部分となります。大型車両の通行は、Uターンではなく、一方通行による通り抜けを想定しております。

修学旅行の大型バスが、通り抜け出来ずにUターンしたと聞いています。先日も、大型トラックが、図の白い部分でUターンしていました。その際に、側溝の金属部分が破損する可能性があります。また、グランド側の歩道でUターンした車両もあります。災害時にどのような車両が入るのか不明ですが、その際に対応出来ないというのは、おかしいのではないのでしょうか。今のうちに対応方法を検討してほしいです。スクールバスも冬場は凍結により通行不可となれば、安全のためUターンすることになります。学校南側道路の出口付近におけるカーブを拡幅するか、Uターン場所を確保するか、いずれかを検討いただきたいと思います。

- スクールバスの運行は、学校の先生方の御意見により、現在の周回路となりました。スクールバスも通行可能となるよう整備中です。
- カーブ部分の幅につきましては、4メートルを確保しております。
- UR様とともに状況を確認し、対応いたします。

中学校職員室下のピロティ部分における排水路のグレーチングについて、車が乗っても良い頑丈なグレーチングではないように思えます。なぜ、緊急時に大きい車がUターン出来ない仕様になっているのでしょうか。最初から想定出来る事項だと感じます。

- この箇所は、裏山斜面の雨水が流れ込むため、集水枡を設けています。比較的大きめの集水枡です。昨年の台風10号でも溢れることはありませんでした。また、この集水枡は重量がかかることを想定しておりません。そのため、大型車両はこちらを通り抜ける方向で考えております。

釜石市のマークが無いマンホールがあったように見受けています。取り替えていないのであれば、市のマークがついた物にしていただければと思います。

- 釜石市の下水道マンホールは、市のマークが入ります。ここにあるマンホールは、地中電気埋設管によるものです。漢字で「デン」という文字が入っており、市のマークがありません。

避難用の木の階段は、子供たちが使用するものでしょうか。または、住民が使用するものでしょうか。1段の高さが、かなり高いように見受けております。高齢の方々や小学校低学年であれば、利用出来ないように思われます。その辺りも考慮していただきたかったと思います。今後改善することは可能でしょうか。

- 高齢の方々については、距離は遠くなりますが、スロープを御利用いただく想定でございます。

1つ目は、神社側から歩いた際、マンホールに他市のマークが入ったものが1つありました。プールと校舎の間にあるマンホールです。

2つ目は、自動車Uターン箇所のグレーチングについて、あまりにも枡目が大きすぎると感じます。子供たちが石を投げ、マンホールに石が入ります。生徒達に指示することも1つの方法だと思いますが、可能であれば枡目の小さいものにしていただきたい。今後どのようなことが起きるか分かりませんので、予想されることは事前に対応すべきであり、重量車両にも耐えられる蓋を取り付けていただきたいと思います。

- 1つ目は、現場確認いたします。2つ目は、確かにグレーチングの網目が大きいと感じておりましたので、耐久性の高い網目の小さいのものに取り替えるよう進めております。

階段についてですが、1段の高さがあと数センチ低ければ、お年寄りや子どもでも登りやすいと思います。

→ 現場を検証しながら、考えていきたいと思います。

プール管理棟の入り口が、10日程前に通った際、開けばなしになっていました。ここに戸やフェンスは設置されるのでしょうか。とある学校のプールにおいて、県外の方、病気持ちの方が泳いでいたという事例があります。そのため、外部の人間が自由に立ち入ることができないよう整備するべきだと思います。また、入り口に戸やフェンスが設置できれば、管理しやすくなると思います。よろしくをお願いします。

→ プールには管理棟があり、周辺にフェンスが設置されております。管理棟の出入り口部分にガードレールがあるんですが、部外者でも自由に立ち入ることが出来るようです。我々も気にかけており、早急に扉をつけるよう進めておりましたので、プール開き前に設置できるよう調整いたします。

今後も地権者連絡会は開催しますか。それとも、これで終わりということでしょうか。

→ (地権者連絡会古川会長) 希望があれば、我々から市に要望し何度でもやる予定です。

地盤沈下したという話を2、3日前に聞きました。その場合はどのようにになりますか。再建場所も沈下した場合、どのように対処いただけますか。時間がかかることはやむを得ないので、強固な地盤にさせていただきたいと思います。宅地造成工事の遅延にかかわらず、地盤沈下しない強固な地盤にいただければ、安心して再建できますので、よろしく願いいたします。また、再建時の地質調査は希望すれば行っていただけますか。

→ 宅地の強度は、市で地盤沈下しないよう盛り土をしたうえで、皆様に引き渡しております。万が一地盤沈下した場合、市で調査をし、不備があれば市で責任をとらせていただきます。

→ 市で地質調査をしたうえで、お引渡しいたします。

(鵜住居地区まちづくり協議会) 学校の一部通路においては、転回することが困難だと感じておりました。両方向のルートでありながら、転回する場所がありません。小学校グラウンドの間か、幼稚園の来客用駐車場の2箇所しかないと思います。また、ブリッジ棟の下の箇所は、おそらく調整可能だと感じております。この問題については、市に対し引続き協議していきたいと思っております。

避難階段については、どこからでも上れるよう50メートルピッチで整備願います。お散歩用のコースだけでなく、津波の際を想定し整備いただきたいと思います。変更により多額の費用が生じるわけではないと思いますので、子ども達が上りやすくなることもふまえて、引続き協議していきたいと思っております。この場所は街の顔であり、災害時の拠点となりますので、まちの安心安全が果たされるよう整備していく必要があります。本日は、様々な御意見をいただきまして、ありがとうございました。

(野田市長) 皆様、本日はお疲れ様でした。長時間にわたりまして、様々な御意見をいただきました。特に、学校において様々な課題があるようですので、再度調査しながら検討させていただきます。

だきたいと思います。本日は、宅地造成工事の遅延によるお詫びをさせていただきましたが、29年度で最後となります。これ以上遅延が生じないよう業者と連携しながら、進めさせていただきたいと思います。本日は、資料を御用意しておりますので、お帰りの際に気になることがありましたら、御相談いただければ幸いです。

今回は、メモリアルパークについても御説明させていただきたいと思います。議会に諮ることや、市内全域に対して御説明すること等を勘案しますと、多くの時間がかかります。しかしながら、最終的な御意見を聞いてから発注したのでは間に合いませんので、御意見を取り入れつつ直せる部分は直すという同時並行手法で進めていきたいと考えております。まちづくり協議会、ワークショップ等々様々な形で、月1回程度集まりをもたなければならないと思っております。よろしく願いいたします。

また、今まで宅地整備の内容がメインでしたが、復興住宅整備や学校工事も終了し、ホテルも建設されるという情勢になってまいりました。経済面や施設設備の内容等も、今後議論していかねばなりません。メモリアルパークだけでなく、交流拠点やスーパー等も、皆様と協議をしながら進めていかねばならないテーマですので、その点につきましても、よろしく願いいたします。

また、住居表示の変更につきましても、議論をしねばなりません。変更した方が良いという意見が多いように感じますが、まちづくり協議会・地権者連絡会の中で確認したうえで、決めていく必要があります。今回は、住居表示の変更、メモリアルパーク、地域の再生計画の内容がメインとなります。したがって、可能な限り早く開催したいと考えておりますので、その間にまち協の方々を中心となり、様々な御意見をまとめていただければ幸いです。ラグビースタジアムの着工式も終了し、鶴住居地区だけでなく、市内全域に対する説明も生じてきますので、時間と労力が一層かかってまいります。そのような作業に、この1年間取り組んでまいりたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

本日は、貴重な御意見をいただきました。皆様からいただいた御意見を真摯に受け止め、可能な限り早急に協議してまいりたいと思いますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。本日は、誠にありがとうございました。

(閉会 16 : 50)

以上